

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年6月6日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,  
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 22週

平成30年5月28日 ~

平成30年6月3日

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ		4						6		10								2	1			1	1				4	1		

## 小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,  
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症								2		2		1						1												
咽頭結膜熱	3	1			2	2	2	3	1	14		4	5	1	2		2													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	4			3	1	7	12	14	46			2	3	2	6	4	9	7	2	2	5	2	2						
感染性胃腸炎	15	3	11	5	46	12	29	55	26	202	2	8	24	22	21	22	15	20	14	5	6	16	6	21						
水痘	1	1						1	2	5								1	2			2								
手足口病	1							1	1	3				1		2														
伝染性紅斑										0																				
突発性発疹	2		2			1	3	3	2	13	1	6	4	1	1															
ヘルパンギーナ										0																				
流行性耳下腺炎								2		2							1			1										

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

## 眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,  
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎	2		2	1	1			1		7					1					1					1	3			1	

### 【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症1例:1歳 男  
○ロタウイルス感染症1例:4歳 男  
灘 区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:14歳 女  
中央区○アデノウイルス感染症2例:0歳11か月 女、3歳 女  
北 区○アデノウイルス感染症3例:0歳8か月 男、1歳 男2例  
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)2例:年齢性別不詳

### 【市内の感染症の状況】

【行政検査情報】※行政検査:公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査

○麻しん(臨床診断例) 4歳 男児 検査結果:PCR陰性

・症状:発熱、発疹、鼻汁、咳嗽、眼脂、結膜充血 ・ワクチン接種歴あり(1回) ・麻しん患者との接触歴不明 ・渡航歴なし  
医師所見として麻しん様の皮疹あり

○ライム病 21歳 男性 検査結果:陰性(血清)

・症状:神経症状、麻痺 ・日本各地での野外活動歴あり ・刺し口等の皮膚病変不明

○ダニ媒介感染症

5月31日に北海道で5例目(累積)のダニ媒介脳炎患者の発生が届出されました。5例全てが北海道で届出されています。ダニ媒介脳炎、ライム病、SFTSなどは、ダニ媒介感染症と呼ばれ、病原体を保有するマダニに刺されることで感染します。対策としてマダニに咬まれないようにすることが、最も重要です。草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンなど肌の露出を少なくしましょう。また、虫よけ剤の併用も効果が期待されます。

流行性角結膜炎の患者が全国の眼科定点医療機関で例年と比較してかなり多く報告されています。本市でも今週7名の報告があり、いくつかの眼科定点医療機関から、散発事例という情報がありました。「はやり目」とも呼ばれるこの疾患は、通常、夏に流行します。7~12日の潜伏期を経て発症し、結膜の充血と浮腫などが起こります。角膜に炎症が及ぶと角膜の表面に混濁が起こり、混濁が消えるまで長期にわたることもあります。感染力が強く、学校保健安全法では、医師が感染のおそれがないと認めるまで出席停止です。予防として、タオルの共用を避け、患者が眼をふいた綿、ティッシュペーパー等の処分を徹底するなど、接触による感染に注意しましょう。また、ウイルスは便中に約1ヶ月排出されるため、症状がなくなっても手洗いを励行しましょう。

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「I」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター

2018年6月6日作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	80代	不明	2018年5月28日	2018年5月29日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱 呼吸困難	不明	-

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	90代	2018年5月28日	2018年5月28日	2018年5月28日	-	分離・同定による 病原体の検出 (血液) PCR法による 病原体遺伝子の検出 (血液)	発熱・肺炎 菌血症	不明	-

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0~4歳	2018年5月28日	2018年5月28日	2018年5月30日	-	分離・同定による 病原体の検出 (血液)	発熱 その他 (鼻汁)	不明	ワクチン接種あり (3回)
女	60代	2018年5月26日	2018年5月26日	2018年5月29日	-	分離・同定による 病原体の検出 (血液)	菌血症	不明	ワクチン接種不明

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2018年4月末	2018年5月15日	2018年5月18日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	鼠径部リンパ節腫 脹 (無痛性)	異性間性的接触	-
女	40代	不明	2018年5月15日	2018年5月18日	早期顕症梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	丘疹性梅毒疹	性的接触	-
男	10代	2018年1月	2018年5月25日	2018年5月29日	早期顕症梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト 自動化法 TPHA法	初期硬結 梅毒性バラ疹	異性間性的接触	-
男	20代	2018年4月末	2018年5月14日	2018年5月30日	早期顕症梅毒Ⅰ期	自動化法 TPHA法	初期硬結 鼠径部リンパ節腫 脹 (無痛性)	異性間性的接触	-
男	20代	2018年5月12日	2018年5月23日	2018年6月1日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結 硬性下疳 鼠径部リンパ節腫 脹 (無痛性)	異性間性的接触	-

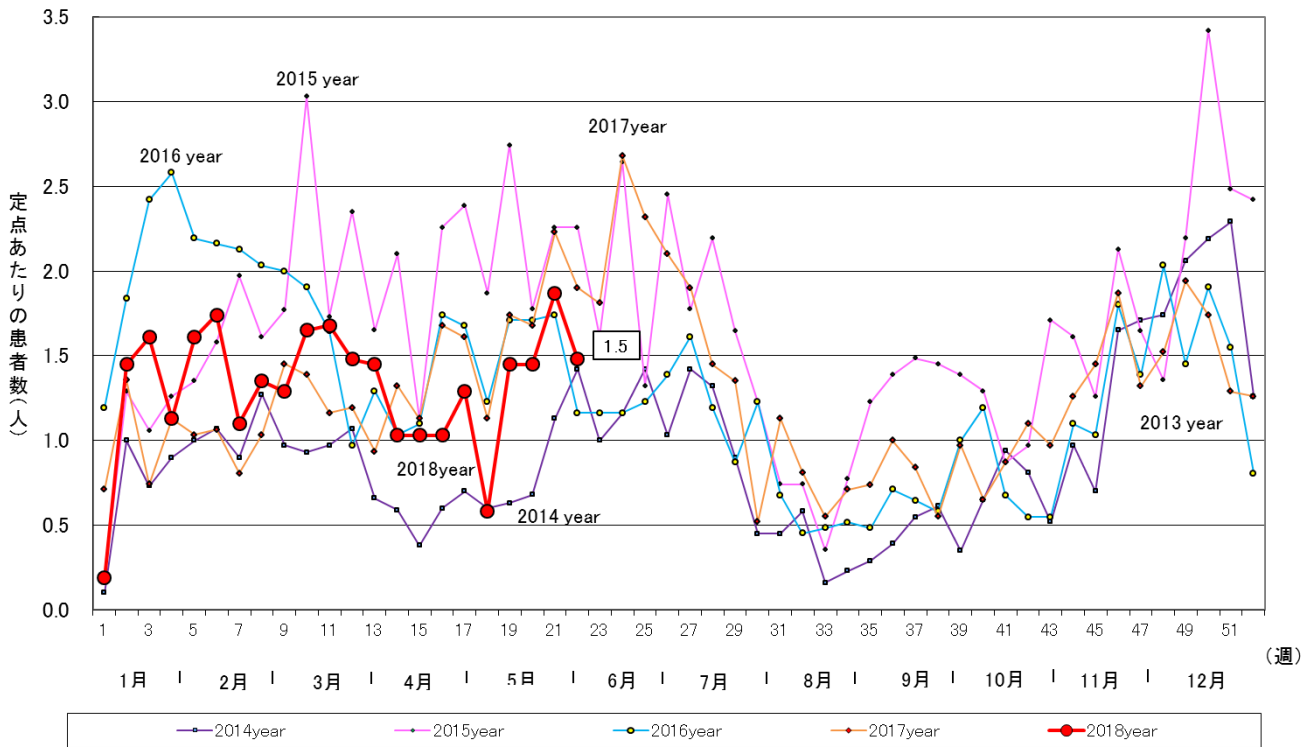
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	10代	2018年5月20日	2018年5月24日	2018年5月29日	-	検体からの病原体遺伝子 の検出 (LAMP法)	持続する咳	不明	ワクチン接種歴あり (4回)

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
アデノウイルス2型	咽頭ぬぐい液	中央	2歳女(5/15採取、40.6℃、咽頭結膜熱)、家族内発生
ヒトメタニューモウイルス	咽頭ぬぐい液	西	34歳女(5/20採取、発熱なし、気管支炎)、家族内発生

### 定点あたりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況



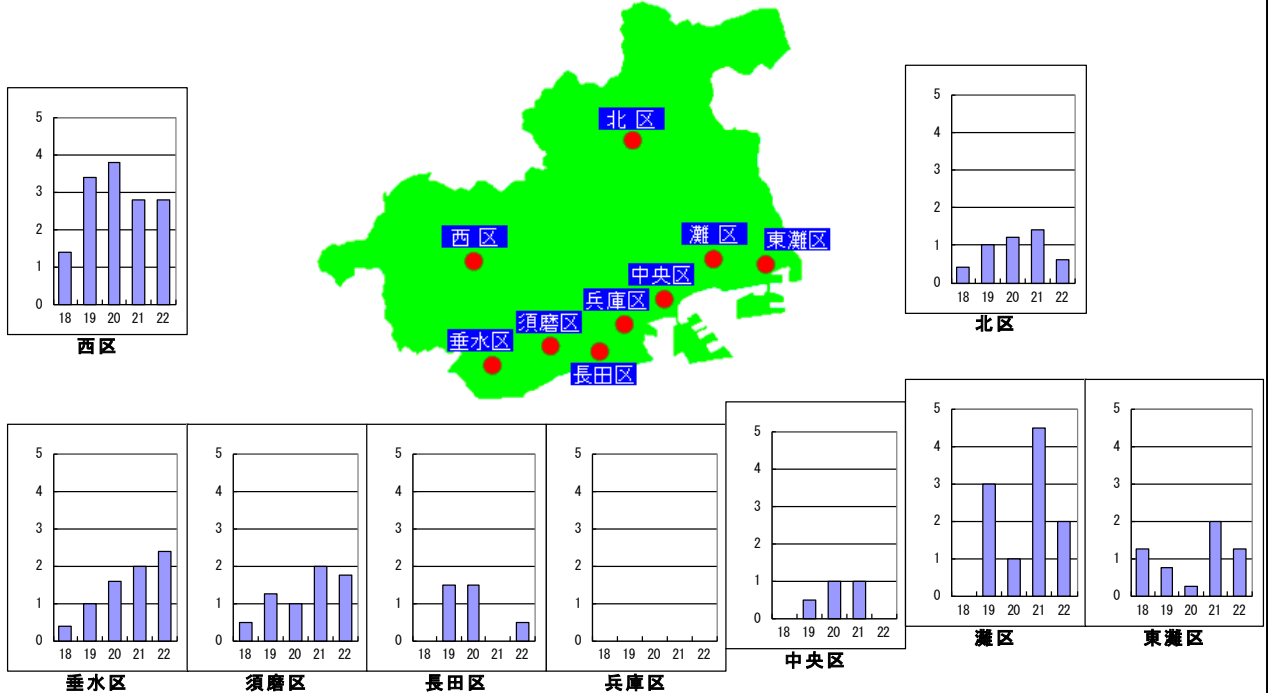
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 18 週 平成30年4月30日

～

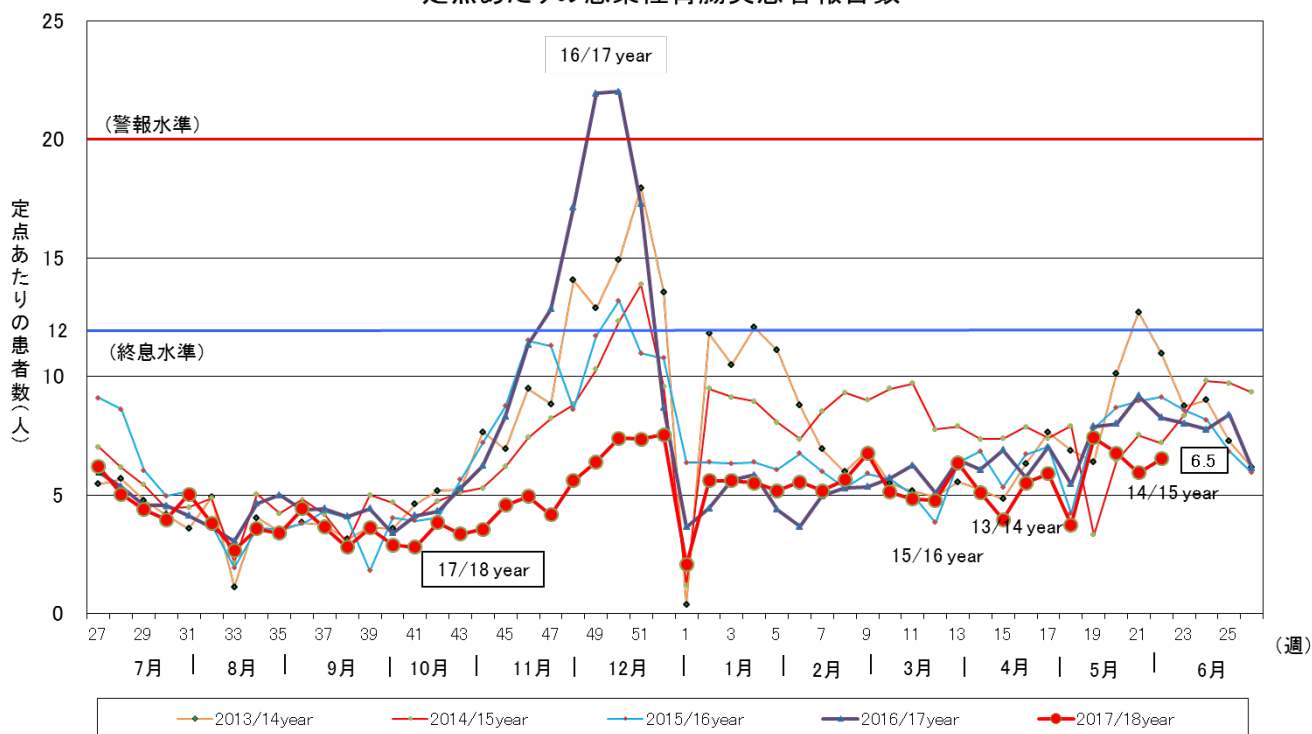
第 22 週 平成30年6月3日

#### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

### 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



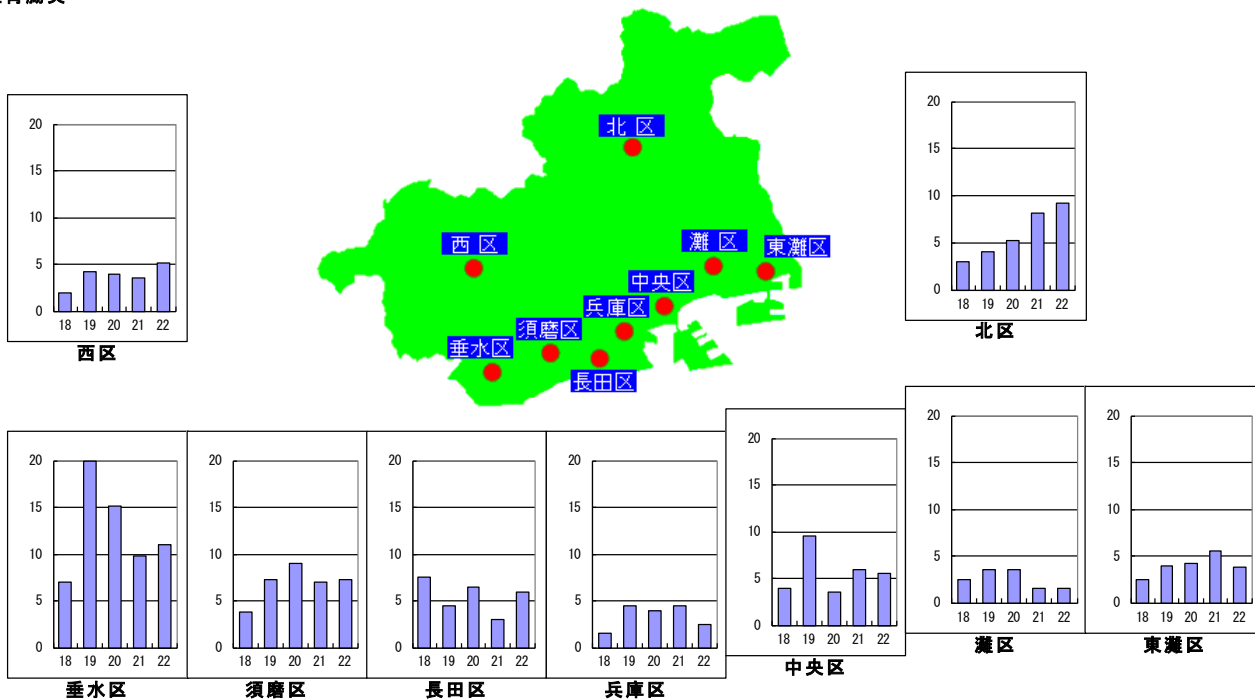
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 18 週 平成30年4月30日

~

第 22 週 平成30年6月3日

#### 感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均シグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。